RimTech

Heart Voice

声だけ5秒で心の状態を可視化する

リスク計測テクノロジーズ株式会社
福島県田村市船引町石森字館108
代表取締役　岡崎 貫治

Contents

1. はじめに｜
   声に、こころは現れる。
2. 開発概要｜聞こえない“気持ち”を、視えるカタチに。
3. 技術の特徴｜AIがひも解く「声で捉える感情」
4. 活用事例｜声が変える、働き方と人との関係
5. バイタリティの可能性｜声のゆらぎに、こころのサインが宿る
6. UI紹介｜誰でも、どこでも。声に話しかけるだけ。
7. 社会的インパクト｜声のケアが、社会のやさしさをつくる
8. 今後の展望と共創機会｜共感の先に、共創がある。
9. お問い合わせ・代表紹介｜声を届けるのは、私たちです。

RimTech

01

はじめに｜声に、こころは現れる。

はじめに

キャッチフレーズ

声だけ5秒でこころ（ストレス）が見える世界へ

課題意識

感情やメンタル状態は見えにくい。

社会背景

メンタルヘルス、孤立、ハラスメント。

なぜ今「声」なのか

声は感情の重要な表現手段であり、テクノロジーの進化により解析が可能になった。

RimTech

02

開発概要｜聞こえない“気持ち”を、視えるカタチに。

開発概要

01

キャッチフレーズ

“話すだけで、こころの状態を可視化”

02

Heart Voiceの仕組み

声の特徴量を解析し、感情を可視化する技術。

心理的ストレスを可視化する。

03

サービスの基本機能と概要

音声入力、感情解析、結果表示。

02

ターゲットユーザー／利用シーン

従業員のストレスケアに課題を持つ企業、ストレスケアを望む個人、実験におけるバイオマーカー

RimTech

03

技術の特徴｜AIがひも解く「声で捉える感情」

技術の特徴

01.

ポイント

“感情×AIで、声から生まれる新しいインサイト”

02.

感情推定AI

音声データの解析アルゴリズム。

03.

バイタリティスコアとは？

心理的健康を数値化する指標。

04.

API/Webアプリの構造（リアルタイム解析）

ユーザーがリアルタイムで感情を把握できる仕組み。

RimTech

04

活用事例｜声が変える、働き方と人との関係

活用事例

01

ポイント

“現場で活きる、声のデータ”

02

タクシー現場でのカスハラ検知

ドライバーのメンタルヘルスを守る。

03

スポーツでのコンディション管理

アスリートのモチベーション管理。

04

教育・医療・リモートワーク現場への応用

多様な状況下における
ストレスマネジメントを実現

RimTech

05

バイタリティの可能性｜声のゆらぎに、こころのサインが宿る

バイタリティの可能性

01

ポイント

“心のしなやかさ。変動があるからこそ、健やか。”

02

バイタリティの定義・計算ロジック

声の変動を基にした健康指標。

03

精神的充実度とストレス兆候の可視化

メンタルヘルスの状態を把握。

RimTech

06

UI紹介｜誰でも、どこでも。
必要なのは声だけ。

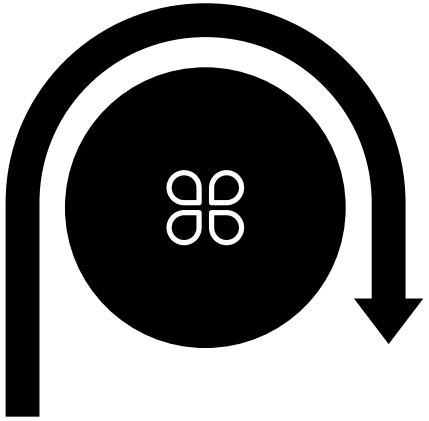
UI紹介

RimTech

07

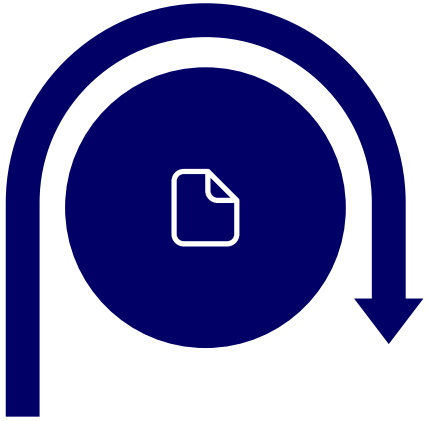
社会的インパクト｜声のケアが、社会のやさしさをつくる

社会的インパクト



インパクト

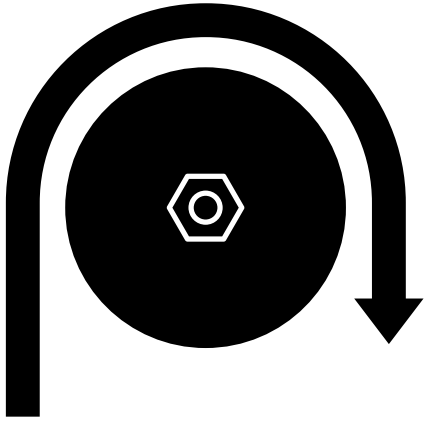
“見えない不調を、見守るテクノロジーへ”



企業の健康経営／離職対策

従業員のメンタルヘルスを支援。

早期チェック　⇨　早期対処を実現



福祉・教育・地方創生との連携

子供から高齢者までを対象。

言葉にならない思いを伝える。

言葉にならない思いを読み取る。

RimTech

08

今後の展望と共創機会｜共感の先に、共創がある。

今後の展望と共創機会

01

声の可能性を追求

声を生体バイオマーカーとして、
ヒトの状態をクイックに知る。

02

今後の実証実験・導入予定

声からフレイルの徴候を知る。
認知機能低下の徴候を知る。
眠気を検知“Sleepy Meter”。

声から音声全体へ。
異常音検知・話し方解析。
音声AI構築基盤のシェア。

03

連携を希望するパートナー

従業員のメンタルケア（健康経営）に関心のある企業様。
メンタルケアのソリューションを有する企業様。
眠気による事故・ミスを削減したい企業様。
認知機能低下の徴候を捕捉したい企業様。

RimTech

09

お問い合わせ・代表紹介｜音の可能性で、未来を描く

- 基礎研究で社会を支える -

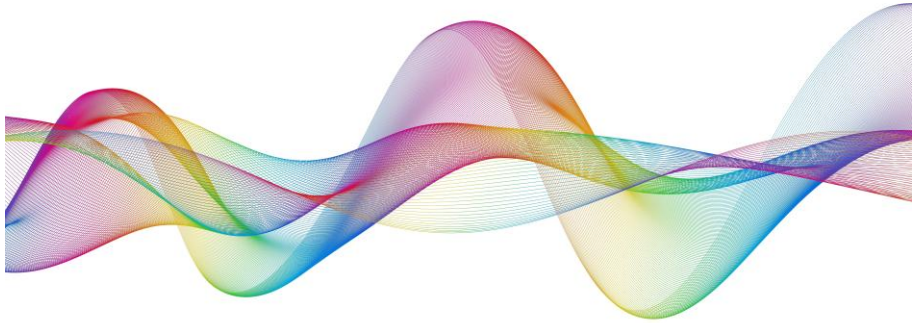
お問い合わせ・代表紹介

1

会社情報

本社：神奈川県横浜市神奈川区金港町5−14

研究開発拠点：福島県田村市船引町石森字館108

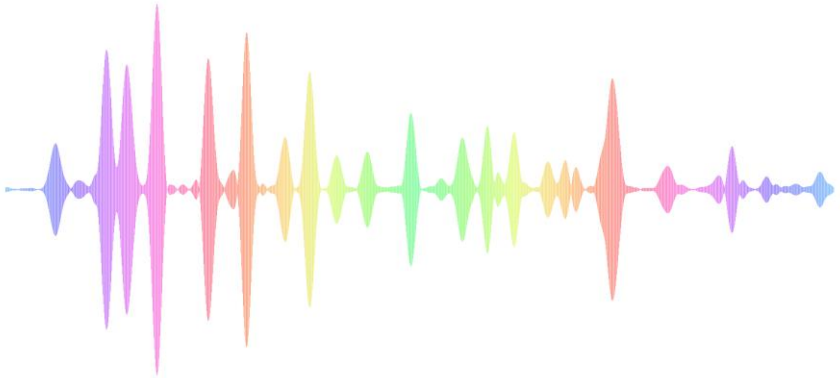


2

代表者紹介

代表：岡崎 貫治

リスク管理に関する助言業務を多数実施。データ分析、リスクモデリングを多数経験。埼玉大学大学院理工学研究科博士後期課程在籍。



3

連絡先

info@rimtech.co.jp

RimTech

Thanks for your attention